

報告書抄録

ふりがな	いなりやま・ごうどいせきだいはちちてんはつくつちようさほうこくしよ							
書名	稲荷山・郷戸遺跡第8地点発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第26集							
編著者名	照林敏郎・佐々木藤雄・小野麻人							
編集機関	朝霞市教育委員会(文化財課)							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2-7-22						TEL048-463-2927	
発行年月日	西暦2008年(平成20年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いなりやま ごと 稲荷山・郷戸 いせき 遺跡 だいちてん 第8地点	さいたまけんあさかし 埼玉県朝霞市 ねぎしだい ちようめ 根岸台八丁目 538-1	11027	008-060	35度 48分 03秒	139度 36分 45秒	2008年 2月22日 ～ 3月4日	243.6	公園建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
稲荷山・郷戸遺跡 第8地点	集落跡	弥生時代 古墳時代	竪穴住居跡15軒 土坑1基	縄文土器 弥生土器 土師器 石器	弥生時代後期の環濠集 落の集落部分の調査を 行った。			
要約	本遺跡は弥生時代後期～古墳時代後期の集落跡であり、今回の調査地点は弥生時代後期の環濠内側に位置する。調査は狭い範囲で行われたため、確認された住居跡は部分的なものにとどまったが、弥生時代後期2軒、古墳時代前期4軒・後期2軒、弥生時代後期～古墳時代前期7軒の住居跡が検出された。弥生時代後期の住居跡では後期前半と考えられる楕円文が施された壺形土器が出土している。							